

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023 年 4 月 30 日

都道府県知事 殿

病院名 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
開設者 理事長 竹田 寛

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第 9 条に基づき、①. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・ 項目番号 1 から 25 までについては、年次報告において記入してください。
- ・ 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 26 から 36 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

記入日：西暦 2023 年 4 月 1 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	031109	臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 桑名市総合医療センター 番号 031109
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ クリタ ショウジ 氏名(姓) 栗田 (名) 祥司	役職 教育研修センター 係長 (内線 22105) (直通電話 (0594) 22 — 2105) e-mail: kenshu@kuwanacmc.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)	
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)	フリガナ チホウドクリツギョウセイホウジン クワナシソウゴウイリョウセンター 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター		
2. 病院の所在地及び二次医療圏の名称 (基幹型、協力型記入)	〒 5 1 1 - 0 0 6 1 (三 重 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県) 桑名市寿町三丁目 11 番地 電話：(0594) 22 — 1211 F A X：(0594) 22 — 9498 二次医療圏 の名称： 北勢		
3. 病院の開設者の氏名(法人の名称) (基幹型、協力型記入)	フリガナ チホウドクリツギョウセイホウジン クワナシソウゴウイリョウセンター リジチョウ タケダ カン 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター 理事長 竹田 寛		
4. 病院の開設者の住所(法人の主たる事務所の所在地) (基幹型、協力型記入)	〒 5 1 1 - 0 0 6 1 (三 重 都 ・ 道 ・ 府 ・ 県) 桑名市寿町三丁目 11 番地 電話：(0594) 22 — 1211 F A X：(0594) 22 — 9498		
5. 病院の管理者の氏名 (基幹型、協力型記入)	フリガナ トノウチ ヒトシ 姓 登内 名 仁		
6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 (基幹型記入)	* 別紙 1 に記入 研修管理委員会のすべての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)	* 別表に記入 病院群を構成するすべての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス (基幹型、協力型記入)	https://www.kuwanacmc.or.jp		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称：地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

		※
9. 医師（研修医を含む。）の員数 (基幹型・協力型記入)		常勤：110 名、非常勤（常勤換算）：8.6 名 計（常勤換算）：118.6 名、医療法による医師の標準員数：32.6 名 * 研修医の氏名等について様式3に記入
10. 救急医療の提供の実績 (基幹型・協力型記入)	救急病院認定の告示 医療計画上の位置付け 救急専用診療（処置）室の有無 救急医療の実績 診療時間外の勤務体制 指導を行う者の氏名等 救急医療を提供している診療科	告示年月日：西暦2023年1月30日、告示番号：第38号 1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関 ①. 有 (15.4) m ² 0. 無 前年度の件数：7,094 件（うち診療時間外：4,826 件） 1日平均件数：19.4 件（うち診療時間外：13.2 件） 救急車取扱件数：4,204 件（うち診療時間外：2,444 件） 医師：7 名、看護師及び准看護師：5 名 * 別紙4に記入 内科系（①. 有 0. 無）外科系（①. 有 0. 無）小児科（①. 有 0. 無） その他（ ）
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） (基幹型・協力型記入)		①. 一般：400 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 (基幹型・協力型記入)		* 別紙2に記入
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） (基幹型・協力型記入)		1. 一般：11.1 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日
14. 前年度の分娩件数 (基幹型・協力型記入)		正常分娩件数：211 件、異常分娩件数：117 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 (基幹型・協力型記入)	開催回数 指導を行う病理医の氏名等 剖検数 剖検を行う場所	前年度実績：6 回、今年度見込：6 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記載 * 別紙4に記入 前年度実績：9 件、今年度見込：10 件 当該医療機関の剖検室 ①. 有 0. 無（ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 (基幹型・協力型記入)	研修医の宿舎 研修医室	1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ①. 無（住宅手当：50,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。 ①. （1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 (基幹型・協力型記入)	図書室の広さ 医学図書数 医学雑誌数 図書室の利用可能時間 文献データベース等の利用環境 医学教育用機材の整備状況	(27.4) m ² 国内図書：5,000 冊、国外図書：4,600 冊 国内雑誌：35 種類、国外雑誌：12 種類 0:00～24:00 24 時間表記 Medline 等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（0:00～24:00）24 時間表記 医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 3 ー

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称：地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

18. 病歴管理体制 (基幹型・協力型記入)	病歴管理の責任者の氏名及び役職 診療に関する諸記録の管理方法 診療録の保存期間 診療録の保存方法	フリガナ トノウチ ヒトシ 氏名(姓) 登内 (名) 仁 役職 病院長 ①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:) (5) 年間保存 1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に:)											
19. 医療安全管理体制 (基幹型・協力型記入)	安全管理者の配置状況 安全管理部門の設置状況 患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況 医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	①. 有 (1 名) 0. 無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。 職員：専任 (1) 名、兼任 (14) 名 主な活動内容：例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 患者相談窓口の責任者の氏名等： フリガナ ヤマダ ノリカズ 氏名(姓) 山田 (名) 典一 役職 副病院長 対応時間 (8:30 ~ 17:15) 24 時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無： ①. 有 0. 無 ①. 有 0. 無 指針の主な内容：医療安全マニュアルによる医療安全管理者・医療事故防止委員会の設置 年 (12) 回 活動の主な内容：感染症報告、安全管理委員会の開催 年 (2) 回 研修の主な内容：動画視聴にて研修 医療機関内における事故報告等の整備： ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容：安全対策委員会からの報告例の公開											
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 (基幹型・協力型記入)	修了： 11 名 中断： 0 名												
21. 現に受け入れている研修医の数 (基幹型・協力型記入)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>当該年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 年</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>2 年</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table>		前々年度	前年度	当該年度	1 年	11	12	14	2 年	11	11	12
	前々年度	前年度	当該年度										
1 年	11	12	14										
2 年	11	11	12										
22. 受入可能定員 (基幹型・協力型記入)	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出 患者数から算出	許可病床数 (400) 床 ÷ 10 = (40) 名 年間入院患者数 (9,230) 人 ÷ 100 = (92) 名											
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 (基幹型・協力型記入) 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) ②. 作業療法士： 4 名 (常勤： 4 名、非常勤： 名) 3. 臨床心理技術者： 名 (常勤： 名、非常勤： 名) 9. その他の精神科技術職員： _____ 名 (常勤： 名、非常勤： 名)												
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)	1. 有 (評価実施機関名： (年 月 日)) ①. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 1. 有 0. 無												

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 4 ー

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)		* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)		女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所	院内保育所の有無 (①. 有 〇. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7 時 30 分 ~18 時 00 分) 病児保育 (1. 有 ①. 無) 夜間保育 (①. 有 〇. 無) 上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か (①. 可 〇. 不可) ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (①有 〇. 無) その他の補助 (具体的に:)
	保育補助	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所	休憩場所 (①. 有 〇. 無) 授乳スペース (①. 有 〇. 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入(院外との連携した取組もあれば記入)	()
	研修医のライフイベントの相談窓口	1. 有 ①. 無 窓口の名称がある場合記入() 窓口の専任担当 1. 有 (名) 〇. 無
	各種ハラスメントの相談窓口	窓口の名称を記入 (苦情相談受付窓口) 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。		
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。		研修プログラムの名称： 桑名市総合医療センター MMC 卒後臨床研修プログラム プログラム番号： 031109706
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)		1 年次： 14 名、2 年次： 14 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先	フリガナ クリタ ショウジ 氏名 (姓) 栗田 (名) 祥司 所属 教育研修センター 役職 係長 電話：(0594) 22 — 1211 F A X：(0594) 22 — 9498 e-mail： kenshu@kuwanacmc.or.jp URL：https://www.kuwanacmc.or.jp
	資料請求先	住所 〒 511-0061 (三重 都・道・府・県) 桑名市寿町三丁目 11 番地 担当部門 担当者氏名 フリガナ クリタ ショウジ 姓 栗田 姓 祥司 電話：(0594) 22 — 1211 F A X：(0594) 22 — 9498 e-mail： kenshu@kuwanacmc.or.jp URL：https://www.kuwanacmc.or.jp

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー5ー

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法 応募必要書類 （複数選択可） 選考方法 （複数選択可） 募集及び選考の時期 マッチング利用の有無	①. 公募 2. その他（具体的に： ） ①. 履歴書 ②. 卒業（見込み）証明書、③. 成績証明書、 ④. 健康診断書、⑤. その他（具体的に：小論文） ①. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に：小論文） 募集時期：5月1日頃から 選考時期：8月1日頃から ①. 有 0. 無		
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）	概要：＊ 別紙3に記入 （作成年月日：西暦2023年4月1日）			
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式2に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合には、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入	（プログラム責任者） フリガナ マジ トモアキ 氏名（姓）馬路 氏名（名）智昭 所属 小児科 役職 部長 （副プログラム責任者） ①. 有（1名） 0. 無			
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） すべての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。	＊ 別紙4に記入			
34. インターネットを用いた評価システム	①. 有（ ☒ EPOC ・その他（ ） ） 0. 無			
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）	西暦 2024 年 4 月 1 日			
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。） 常勤・非常勤の別 研修手当 勤務時間 休暇 当直 研修医の宿舎（再掲） 研修医室（再掲） 社会保険・労働保険	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ②. 病院独自の処遇とする。 ①. 常勤 2. 非常勤 <table border="1"> <tr> <td>一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 405,200 円 ） 賞与／年（ 801,400 円 ）</td><td>二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 414,600 円 ） 賞与／年（ 1,554,750 円 ）</td></tr> </table> 時間外手当： ①. 有 0. 無 休日手当： ①. 有 0. 無 基本的な勤務時間（ 8：30 ～ 17：15 ）24時間表記 休憩時間（ 45 分 ） 時間外勤務の有無：①. 有 0. 無 有給休暇（1年次：10日、2年次：20日） 夏季休暇（①. 有 0. 無） 年末年始（①. 有 0. 無） その他休暇（具体的に：結婚休暇、忌引休暇、）病気休暇等） 回数（約 4 回／月） 1. 有（単身用： 戸、世帯用： 戸） ②. 無（住宅手当： 50,000 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。 ①. 有（1室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。 公的医療保険（ 三重県市町村共済組合 ） 公的年金保険（ 厚生年金保険 ） 労働者災害補償保険法の適用（ 1. 有 ②. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（①. 有 0. 無） 雇用保険（①. 有 0. 無）	一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 405,200 円 ） 賞与／年（ 801,400 円 ）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 414,600 円 ） 賞与／年（ 1,554,750 円 ）
一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 405,200 円 ） 賞与／年（ 801,400 円 ）	二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（ 414,600 円 ） 賞与／年（ 1,554,750 円 ）			

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 6 ー

病院施設番号： 031109

臨床研修病院の名称：地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理	健康診断（年 2 回） その他（具体的に ）
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（①. する 〇. しない） 個人加入（1. 強制 ②. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：①. 可 〇. 否 学会、研究会等への参加費用支給の有無：①. 有 〇. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（①. 有 〇. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（7 時 30 分 ～18 時 00 分）
		病児保育（1. 有 ②. 無） 夜間保育（①. 有 〇. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（①. 可 〇. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（①. 有 〇. 無） その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（①. 有 〇. 無） 授乳スペース（①. 有 〇. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 ②. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 〇. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（苦情相談受付窓口） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） ②. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）		①. 有 〇. 無
38. 連携状況（基幹型記入）		* 様式 6 に記入

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院のすべての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から25までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号26から35までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成するすべての臨床研修病院、大学病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について
 - (1) 「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
 - (2) 「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間のすべてを勤務する者をいうものであること。
 - (3) 「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。
※ 換算式
$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$
 - (4) 「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
 - (5) 「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。
※ 算出式
$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。
- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っているすべての研修医の氏名等について、様式3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
 - (1) 「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
 - (2) 「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
 - (3) 「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
 - (4) 「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、すべての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
 - (5) 「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
 - (6) 「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
 - (7) 「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日午後12時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。
※ 算出式
$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$
- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
 - (1) 「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入する

こと。

- (2)「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- (3)「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「() 大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「() 病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- (1)「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
- (2)「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- (1)「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- (2)「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他()」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- (1)「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- (1)「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (2)「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- (3)「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（ $\div 10$ ）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（ $\div 100$ ）の双方とも記入すること。
- 25 「当該病院からの医師派遣実績」欄は、「加算する数値については、研修医の募集を行う年度の前年度末の時点で医師派遣等が行われている常勤の医師数が20人以上の場合を1とし、5人増える毎に1を加え、80人以上の場合を13」とする。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別業に記入すること。
- 28 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EP00かその他を選択すること。
- 29 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。
- 30 「研修医の募集及び採用の方法」欄について
- (1)「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2)「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類すべてに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3)「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するものすべてに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4)「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5)「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。
- 31 「研修医の処遇」欄について
- (1)「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2)「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3)「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4)「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有

無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

- (5)「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6)「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7)「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8)「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9)「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ シライシ タイゾウ 姓 白石 名 泰三	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副理事長	研修管理委員長・研修実施責任者 病理診断医
フリガナ マジ トモアキ 姓 馬路 名 智昭	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	プログラム責任者 研修管理委員
フリガナ オオクボ セツヤ 姓 大久保 名 節也	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	内科部長	副プログラム責任者 研修管理委員
フリガナ タケダ カン 姓 竹田 名 寛	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	理事長	研修管理委員
フリガナ トノウチ ヒトシ 姓 登内 名 仁	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	病院長	研修管理委員
フリガナ ヤマダ ノリカズ 姓 山田 名 典一	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	研修管理委員
フリガナ マチシ ヒデキ 姓 町支 名 秀樹	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	研修管理委員
フリガナ サカイダ ヒロシ 姓 阪井田 名 博司	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	研修管理委員
フリガナ イシダ サトシ 姓 石田 名 聡	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	研修管理委員
フリガナ カワグチ タツヤ 姓 川口 名 達也	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	放射線科部長	研修管理委員

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号：031109

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ モリタニ トモコ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	研修管理委員
姓 森谷	名 朋子			
フリガナ ナカセコ ケン		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	整形外科部長	研修管理委員
姓 中瀬古	名 健			
フリガナ スズキ ヒデオ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	中央検査室部長	研修管理委員
姓 鈴木	名 秀郎			
フリガナ ミヤハラ ヒロミ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	麻酔科部長	研修管理委員
姓 宮原	名 ひろみ			
フリガナ オオムラ タカシ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	循環器内科部長	研修管理委員
姓 大村	名 崇			
フリガナ ヤストミ マサシ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	腎臓内科部長	研修管理委員
姓 安富	名 真史			
フリガナ ユアサ ウヒト		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	心臓血管外科部長	研修管理委員
姓 湯浅	名 右人			
フリガナ マエダ ヨシノリ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	産婦人科部長	研修管理委員
姓 前田	名 佳紀			
フリガナ コデラ ヒトシ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	膠原病リウマチ内科医長	研修管理委員
姓 小寺	名 仁			
フリガナ オオダチ キヨミ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	脳神経内科部長	研修管理委員
姓 大達	名 清美			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ ユダ ナオミチ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	呼吸器内科部長	研修管理委員
姓 油田	名 尚総			
フリガナ キタガワ ナガコ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	糖尿病内分泌内科部長	研修管理委員
姓 北川	名 良子			
フリガナ コザワ マキ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	眼科部長	研修管理委員
姓 小澤	姓 摩記			
フリガナ カトウ トモミ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	看護部長	研修管理委員
姓 加藤	姓 友美			
フリガナ ヤハシ トモコ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	検査室長	研修管理委員
姓 矢橋	姓 知子			
フリガナ イトウ クミコ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	薬剤部長	研修管理委員
名 伊藤	名 久美子			
フリガナ ナカムラ ヒロアキ		地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	管理部長	研修管理委員 事務部門責任者
姓 中村	名 博明			
フリガナ イトウ ノリアキ		大仲さつき病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 伊藤	名 憲昭			
フリガナ カネコ カズマ		医療法人社団橘会 多度あやめ病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 金子	名 和磨			
フリガナ イシガ タケン		いしが在宅ケアクリニック	理事長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 石賀	名 丈士			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の名を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ スガ シゲル		三重病院	臨床研究部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 菅	名 秀			
フリガナ シバタ トミコ		桑名保健所	所長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 芝田	名 登美子			
フリガナ アシハラ ムツミ		中部ろうさい病院	心療内科部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 芦原	名 睦			
フリガナ マツバヤシ トモゴ		静岡県立こども病院	研修推進センター兼予防接種センター長兼神経科医長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 松林	名 朋子			
フリガナ ヤマダ ユキタカ		長島中央病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 山田	名 幸隆			
フリガナ マツダ タダシ		まつだ小児科クリニック	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 松田	名 正			
フリガナ シマザキ リョウジ		公益社団法人地域医療振興協会 シティ・タワー診療所	所長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 島崎	名 亮司			
フリガナ ヒガシグチ タカシ		ヨナハ丘の上病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 東口	名 高志			
フリガナ スギヤマ ハルト		国立国際医療研究センター病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 杉山	名 温人			
フリガナ カラスノ タカヒロ		りんくう総合医療センター	副病院長兼臨床研修センター長 兼血液内科主任部長兼薬剤部門 長兼薬剤管理センター長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 鳥野	名 隆博			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の名を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーによ

り対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

別紙 1

(No. 5)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ドウユウ マナブ 姓 道勇 名 学	愛知医科大学病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ クマガイ ナオト 姓 熊谷 名 直人	永井病院	救急部長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ クロダ マサル 姓 黒田 名 勝	桑名医師会	事務長	外部委員
フリガナ エスミ ユウタ 姓 江角 名 悠太	志摩市民病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ フジタ コウヘイ 姓 藤田 名 康平	社会医療法人居仁会 総合心療センターひなが	理事長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ ノムラ トモユキ 姓 埜村 名 智之	三重北医療センターいなべ総合 病院	院長代理兼副院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ フルハシ カズヒサ 姓 古橋 名 一壽	三重県立総合医療センター	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ ムラタ テツヤ 姓 村田 名 哲也	鈴鹿中央総合病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ イエムラ ジュンゾウ 姓 家村 名 順三	岡波総合病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
フリガナ ミヤタ トモヒト 姓 宮田 名 智仁	津生協病院	副院長、内科部長	研修実施責任者 研修管理委員

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーによ

り対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

別紙 1

(No. 6)

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名		所属	役職	備考
フリガナ コバヤシ カズヒコ		松阪中央総合病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 小林	名 一彦			
フリガナ フジワラ ケンタロウ		松阪市民病院	呼吸器内科部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 藤原	名 研太郎			
フリガナ フルハシ タケヒコ		三重県立志摩病院	東洋医学・皮膚科医師	研修実施責任者 研修管理委員
姓 古橋	名 健彦			
フリガナ タニガワ ケンジ		亀山市立医療センター	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 谷川	名 健次			
フリガナ フジイ エイタロウ		名張市立病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 谷川	名 健次			
フリガナ イケダ タケシ		市立伊勢総合病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 池田	名 健			
フリガナ カトウ ヒロユキ		紀南病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 加藤	名 弘幸			
フリガナ ナカジマ シゲヒト		四日市羽津医療センター	内科診療部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 中島	名 滋人			
フリガナ カナシロ マサアキ		市立四日市病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 金城	名 昌明			
フリガナ タノ シュンスケ		鈴鹿回生病院	消化器内科副部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 田野	名 俊介			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の名氏等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ヤマモト ノリヒコ	三重大学医学部附属病院	臨床研修・キャリア支援部初期研修センター長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 山本 名 憲彦			
フリガナ タナカ ジュンコ	国立病院機構三重中央医療センター	教育研修部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 田中 名 淳子			
フリガナ コンドウ アキノブ	済生会松阪総合病院	外科部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 近藤 名 昭信			
フリガナ オオニシ タカヒロ	伊勢赤十字病院	腎臓内科部長（兼）血液浄化センター長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 大西 名 孝宏			
フリガナ イノウエ ヤスヒロ	遠山病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 園田 名 茂			
フリガナ ソノダ シゲル	藤田医科大学七栗記念病院	病院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 井上 名 靖浩			
フリガナ ナカムラ タイチ	三重県立一志病院	医長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 中村 名 太一			
フリガナ フジカワ ヒロユキ	伊賀市立上野総合市民病院	外科部長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 藤川 名 裕之			
フリガナ コウジ タカフミ	尾鷲総合病院	病院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 幸治 名 隆文			
フリガナ ヤダ タカシ	榑原温泉病院	院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 矢田 名 隆志			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和4年度開催回数 2回）

病院施設番号： 031109 臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

氏名	所属	役職	備考
フリガナ オク コウセイ	松阪厚生病院	副院長	研修実施責任者 研修管理委員
姓 奥 名 公正			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ タ			
姓 名			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター
 病院施設番号： 031109

区 分	内 科	救 急 部 門	外 科	麻 酔 科 （部 門 ）	小 児 科	産 婦 人 科	又は		精 神 科	病院で定めた必修科目 の診療科			その他の研修を行う診 療科			合 計	
							産 科	婦 人 科					病 理 診 断 科	放 射 線 科	整 形 外 科		
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	4,716	980 (620)	1,830	0	438	1,003 (328)							0	0	573	9,540 (948)	
年間新外来患者数	2,979	3,017	1,410	105	471	804			98				0	1,902	441	11,227	
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	405.6 (243)	16.5 (365)	156.0 (243)	5.1 (243)	22.7 (243)	45.6 (243)	(0)	(0)	40.7 (51)	(0)	(0)	(0)	0.0 (0)	20.9 (243)	54.1 (196)		
平均在院日数	13.2		13.5		8.5	6.8									20.5		
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	40 (17)	3 (2)	19 (10)	8 (3)	9 (5)	7 (1)	(0)	(0)	1 (0)		(0)	(0)	(0)	4 (1)	3 (1)	5 (3)	99 (43)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち必修科目としての内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち必修科目としての外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院の指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

病院施設番号： 031109

区 分	その他の研修を行う診療科															合 計
	眼 科															
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	494															10,034 (948)
年間新外来患者数	307															11,534
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	51.8 (243)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	
平均在院日数	2.5															
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	4 (1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	103 (44)

※ 「年間入院患者実数」とは、申請年度の前々年度の繰越患者数に申請年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、申請年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、11. の救急医療の実績の前年度の件数及び15. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち必修科目としての内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち必修科目としての外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院の指定申請においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。(様式任意)

※ 当該病院が申請する臨床研修を開始する年度とその次年度分を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れる場合は、協力型臨床研修病院として受け入れる人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄には、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れる基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各 4 週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間 4 週について 1 人とする）を記入すること。

※「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

※ 当該病院が申請する臨床研修を開始する年度とその次年度分を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れる場合は、協力型臨床研修病院として受け入れる人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※「基幹型臨床研修病院名」欄には、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れる基幹型臨床研修病院名を記入すること。

3 1. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号 : 031109706

病院施設番号 : 031109

臨床研修病院の名称 : 地方独立行政法人桑名市総合医療センター

臨床研修病院群番号 :

臨床研修病院群名 :

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	桑名市総合医療センターMMC 卒後臨床研修プログラム				
2. 研修プログラムの特色	1) 中規模病院の特色を活かした指導医との距離が近い実践的な研修スタイルを提供。 2) 臨床研修の基本理念を前提に到達目標を確実に修了し、プライマリケアへの対応力を養成。 3) 各診療科に指導医・専門医が在籍し、高度かつ専門的な研修が可能。 4) 地域の特色に応じた当院独自の必修分野を研修。 5) 選択科期間においては、将来のキャリア形成に向けた多彩なプログラムの選択が可能。(MMC プログラム等)				
3. 臨床研修の目標の概要	将来の専門性に関わらず、三重県の地域特性にマッチした地域密着型医療における基本的な医療ニーズに対応し、地域社会に貢献できる医師としての基礎を確立するために、幅広く救急や基礎的疾患を経験して、これらに対応できる医学知識や技術を身につけるとともに、患者・家族の心情に配慮し、他職種、他施設と協調して医療を遂行する態度や、安全・確実な医療を全うできる責任感を涵養します。				
4. 研修期間	(2) 2 年 (原則として、「2 年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 本人の希望と三重大病院群各科専門医研修プログラムとの兼ね合いにより、当院正規職員として後期研修への継続可能。				
5. 臨床研修を行う分野	研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間) * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	031109	桑名市総合医療センター	24 週	2 週
	救急部門	031109	桑名市総合医療センター	12 週	
	地域医療	032842	三重県立一志病院	4 週	一般外来 週 在宅診療 1~4 週
		040005	紀南病院		
		056636	まつだ小児科クリニック		
		096571	いしが在宅ケアクリニック		
		157908	シティ・タワー診療所		
		032860	長島中央病院		
	030911	国民健康保険志摩市民病院			

	外科	031109	桑名市総合医療センター	4 週	1 週
	小児科	031109	桑名市総合医療センター	4 週	1 週
	産婦人科	031109	桑名市総合医療センター	4 週	
	精神科	031697	大仲さつき病院	4 週	
		031693	多度あやめ病院		
病院で定めた必修科目	救急科	031109	桑名市総合医療センター	8 週	
選択科目	選択科	031109	桑名市総合医療センター	40 週	
		030208	国立国際医療研究センター病院		
		030399	中部ろうさい病院		
		030445	三重県立総合医療センター		
		030446	市立四日市病院		
		030448	鈴鹿中央総合病院		
		030930	鈴鹿回生病院		
		035115	岡波総合病院		
		030452	三重大学医学部附属病院		
		030820	津生協病院		
		030449	三重中央医療センター		
		030455	松阪中央総合病院		
		030456	済生会松阪総合病院		
		030454	松阪市民病院		
		030457	伊勢赤十字病院		
		030911	三重県立志摩病院		
		031706	藤田医科大学七栗記念病院		
		090042	遠山病院		
		030953	四日市羽津医療センター		
		031695	三重北医療センターいなべ総合病院		
		110022	亀山市立医療センター		
		031707	名張市立病院		
		032842	県立一志病院		

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 60 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。

臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 24 週 ※原則として、24 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りではない。

研修プログラムに規定された救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 40 回

救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科

選択科目	選択科	030453	市立伊勢総合病院	
		031709	尾鷲総合病院	
		040005	紀南病院	
		032843	桑名保健所	
		096571	いしが在宅ケアクリニック	
		031697	大仲さつき病院	
		031655	静岡県立こども病院	
		031703	三重病院	
		086120	ヨナハ丘の上病院	
		030519	りんくう総合医療センター	
		031693	多度あやめ病院	
		147625	永井病院	
		070038	伊賀市立上野総合市民病院	
		030447	総合心療センターひなが	
		106242	シティ・タワー診療所	
		032860	長島中央病院	
		096065	国民健康保険志摩市民病院	
		030420	愛知医科大学病院	
		031699	榊原温泉病院	
		031705	松阪厚生病院	

研修プログラム

1 年目

内科	救急	外科	小児科	産婦人科	精神科
24 週	12 週	4 週	4 週	4 週	4 週

2 年目

地域医療	救急	選択科
4 週	8 週	40 週

(ローテイト順不同)

【研修期間】

○必修分野：

-内科 24 週 [内科として、循環器内科 (4 週)、消化器内科 (4 週)、糖尿病内分泌内科・膠原病リウマチ内科 (4 週)、脳神経内科 (4 週)、腎臓内科 (4 週)、呼吸器内科 (4 週) における研修 (合計 24 週) を行うこと。]

-救急 20 週 [救急部門として、1 年次に整形外科 (4 週)、麻酔科 (4 週)、脳神経外科 (4 週) の中から 2 科及び救急科 (4 週)、2 年次に救急科 (8 週) における研修 (合計 20 週) を行うこと。]

-外科 4 週

-小児科 4 週

-産婦人科 4 週

-精神科 4 週

-地域医療 4 週

-一般外来研修 4 週 [内科、外科、小児科における並行研修を含むこと。]

○その他（選択研修）：40 週

選択研修期間について 40 週のうち院外での研修の上限を 24 週とする。

【臨床研修を行う臨床研修病院・協力施設、分野、診療科等】

○必修分野：

-内科 (24 週) 桑名市総合医療センター

-救急 (20 週) 桑名市総合医療センター

-外科 (4 週) 桑名市総合医療センター

-小児科 (4 週) 桑名市総合医療センター

-産婦人科 (4 週) 桑名市総合医療センター

-精神科 (4 週) 大仲さつき病院、多度あやめ病院

-地域医療 (4 週) まつだ小児科クリニック、いしが在宅ケアクリニック、シティ・タワー診療所、
県立一志病院、紀南病院、長島中央病院、国民健康保険志摩市民病院

○その他（選択研修）：-桑名市総合医療センター（循環器内科、消化器内科、糖尿病内分泌内科、膠原病リウマチ内科、脳神経内科、腎臓内科、呼吸器内科、小児科、産婦人科、外科、整形外科、脳神経外科、眼科、放射線科、救急科、病理診断科、麻酔科、検査）

-りんくう総合医療センター（救急医療）

-国立国際医療研究センター病院（感染症科）

-シティ・タワー診療所（地域医療）

-紀南病院（地域医療・へき地医療）

-県立一志病院（地域医療・総合診療科）

-まつだ小児科クリニック（地域医療）

-いしが在宅ケアクリニック（地域医療・在宅医療）

-総合心療センターひなが（精神科）

-桑名保健所（保健・医療行政）

-大仲さつき病院（精神科）

-多度あやめ病院（精神科）

-中部ろうさい病院（心療内科）

-三重病院（小児科）

-永井病院（循環器科）

-静岡県立こども病院（小児科・救急）

-ヨナハ丘の上病院（産婦人科）

-長島中央病院（地域医療）

-国民健康保険志摩市民病院（地域医療）

-愛知医科大学病院（麻酔科）

-MMC提携病院 [以下、28 施設：MMC プログラム (<https://www.mmc-center.com/program/>) 参照]

1) 三重北医療センターいなべ総合病院（内科、外科、整形外科、産婦人科、放射線科、泌尿器科）

2) 四日市羽津医療センター（内科、脳神経内科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、リハビリテーション緩和ケア科、予防医学科、放射線科）

3) 市立四日市病院（循環器内科、消化器内科、脳神経内科、血液内科、呼吸器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、形成外科、産婦人科、麻酔科、泌尿器科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科、放射線科、病理、救命救急センター、緩和ケアセンター）

- 4) 三重県立総合医療センター（消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、脳神経内科、救急、小児科、産婦人科、外科、整形外科、心臓血管外科、呼吸器外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科、皮膚科、耳鼻いんこう科、眼科）
- 5) 鈴鹿中央総合病院（内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、病理診断科、産婦人科、精神科、皮膚科、放射線科、放射線治療科）
- 6) 鈴鹿回生病院（消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、外科、脳神経外科、脳神経内科、整形外科、耳鼻咽喉科、泌尿器科）
- 7) 岡波総合病院（内科、消化器内科、循環器内科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小児科、麻酔科、外科、心臓血管外科、眼科、放射線科）
- 8) 三重大学医学部附属病院（循環器内科、腎臓内科、血液・腫瘍内科、消化器・肝臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、肝胆膵・移植外科、乳腺外科、消化管外科、小児外科、心臓血管・呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、小児科、産科婦人科、精神科神経科、腎泌尿器外科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、眼科、皮膚科、放射線科（診断部門、治療部門、IVR 部門）、救急科（救命救急センター）、麻酔科、病理診断科、形成外科、リウマチ・膠原病内科、総合診療科、リハビリテーション科、緩和ケア科）
- 9) 津生協病院（内科、外科、地域医療）
- 10) 三重中央医療センター（消化器内科、産婦人科、糖尿病・内分泌内科、循環器内科、消化器外科、呼吸器内科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、麻酔科、整形外科、脳神経内科、小児・新生児科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、病理診断科、皮膚科、救急科）
- 11) 松阪中央総合病院（循環器内科、血液・腫瘍科内科、脳神経内科、消化器内科、小児科、外科、脳神経外科、胸部外科、整形外科、麻酔科、泌尿器科、眼科、救急科、病理診断科、耳鼻咽喉科）
- 12) 済生会松阪総合病院（内科、外科、乳腺外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、脳神経外科、放射線科、脳神経内科、臨床検査科、緩和医療科、皮膚科）
- 13) 松阪市民病院（循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、呼吸器外科、眼科）
- 14) 伊勢赤十字病院（頭頸部・耳鼻咽喉科、泌尿器科、眼科、緩和ケア内科、病理診断科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、外科、呼吸器外科・心臓血管外科、整形外科、循環器内科、肝臓内科、血液内科、感染症内科、産婦人科、呼吸器内科、小児科、腎臓内科、脳神経外科、形成外科、腫瘍内科、救急部、麻酔科、脳神経内科、放射線科）
- 15) 三重県立志摩病院（内科、外科、整形外科、精神科、皮膚科（漢方内科・漢方皮膚科））
- 16) 遠山病院（内科、外科、救急）
- 17) 藤田医科大学七栗記念病院（リハビリテーション科、外科）
- 18) 名張市立病院（内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、循環器内科、総合診療科、麻酔科）
- 19) 市立伊勢総合病院（内科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、放射線科、麻酔科、泌尿器科）
- 20) 紀南病院（内科、外科）
- 21) 尾鷲総合病院（内科、外科）
- 22) 三重県立一志病院（内科（地域医療））
- 23) 亀山市立医療センター（内科（総合診療科））
- 24) 伊賀市立上野総合市民病院（消化器・肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、外科、乳腺外科、整形外科、救急科、総合診療科、訪問診療科）
- 25) 永井病院（内科、循環器内科、外科、整形外科）
- 26) 榑原温泉病院（地域医療（内科））
- 27) 松阪厚生病院（精神科）
- 28) 志摩市民病院（地域医療（総合診療））

臨床研修病院の名称: 地方独立行法人桑名市総合医療センター

! 臨床研修病院群名:

プログラム : 031109706

(No. 1)

* 1 : 臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

* 2 : 「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

* 3 : 選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

臨床研修病院の名称： 地方独立行政法人桑名市総合医療センター
臨床研修病院群名：

プログラム番号 : 031109706

(No. 1)

[illegible]

三重県立総合医療センター

(030445)

市立四日市病院

(030446)

鈴鹿中央総合病院

(030448)

鈴鹿回生病院

(030930)

岡波総合病院

(035115)

三重大学医学部附属医院

(030452)

津生協病院

(030820)

三重中央医療センター

(030449)

松阪中央総合病院

(030455)

松阪中央総合病院

(030455)

濟生会松阪総合病院

(030456)

松阪市民病院

(030454)

伊勢赤十字病院

(030457)

三重県立志摩病院

(030911)

藤田医科大学七栗記念病院 (031706)	
遠山病院 (090042)	
遠山病院 (090042)	
四日市羽津医療センター (030953)	
亀山市立医療センター (110022)	
三重北医療センター いなべ総合病院 (031695)	
名張市立病院 (031707)	
県立一志病院 (032842)	
市立伊勢総合病院 (030453)	
尾鷲総合病院 (031709)	選択科
紀南病院 (040005)	
桑名保健所 (032843)	
いしが在宅ケアクリニック (096571)	
大仲さつき病院 (031697)	

33. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号: 031109

臨床研修病院の名称: 地方独立行政法人 桑名市総合医療センター

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医(指導医)
病理診断科	白石 泰三	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副理事長	44	○	日本病理学会病理専門医 日本臨床検査学会臨床検査専門医 死体解剖資格認定医 日本臨床細胞学会細胞診断専門医 平成23年度第1回三重大学医学部附属病院指導医 養成講習会受講済 プログラム責任者養成講習会受講済		3、4
小児科	馬路 智昭	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長 周産母子センター長	28	○	日本小児科学会小児科専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会新生児専門医・指導医 日本周産期・新生児医学会新生児蘇生法専門インストラクター 平成22年度第12回MMC指導医講習会/第7回名大ネットワーク指導医講習会受講済 プログラム責任者養成講習会受講済		1、4
内科 (循環器)	大久保 節也	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	内科部長	38	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本循環器学会循環器専門医 日本医師会産業医 プログラム指導者講習会受講済 臨床研修指導医養成講習会受講済		2、4
内科 (循環器)	市川 毅彦	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	名誉病院長	43	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医日本循環器学会専門医 日本高血圧学会指導医日本医師会認定産業医 平成15年度MMC臨床研修指導医養成講習会受講済		4
外科	登内 仁	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	病院長	39	○	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医日本消化器病学会専門医 日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 平成17年度MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (循環器)	山田 典一	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	34	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医日本循環器学会循環器専門医 日本脈管学会脈管専門医 平成18年度第四回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済 プログラム責任者養成講習会受講済		4
内科 (循環器)	大村 崇	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	循環器内科部長	24	○	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医・内科指導医 日本心血管インターベンション治療学会専門医 平成24年度第15回MMC指導医養成講習会受講済		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理(CPC)を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医(指導医)等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医(指導医)については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること(プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること)。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医(指導医)・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年(84月)以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医 (指導医)
内科 (循環器)	今井 裕一	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	循環器内科医長	11	○	第30回MMC・第17回三重大学医学部附属病院合同指導医養成講習会受講済		4
内科 (消化器)	石田 聡	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副病院長	33	○	日本内科学会認定内科医・指導医日本消化器学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医日本肝臓学会認定肝臓専門医日本医師会認定産業医 日本人間ドック学会認定医 日本静脈経腸栄養学会認定教育施設指導医・認定医インフェクションコントロールドクター(ICD) 日本化学療法学会抗腫瘍学療法認定医 第44回新臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (消化器)	中川 直樹	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	消化器内科部長	31	○	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会認定消化器内視鏡専門医・指導医 日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医 日本病態栄養学会認定病態栄養専門医・病態栄養専門医研修指導医・NSTコーディネーター 日本カプセル内視鏡学会認定医 日本消化管学会認定胃腸科専門医 平成18年度第四回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了 日本医師会産業医		4
内科 (消化器)	泉 道博	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	消化器内科部長	28	○	日本内科学会認定内科医 第6回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (消化器)	大矢 由美	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	消化器内科部長	27	○	日本内科学会認定総合内科専門医・指導医 日本消化器病学会認定消化器病専門医・指導医 日本肝臓学会認定肝臓専門医・指導医 日本医師会認定健康スポーツ医 日本医師会認定産業医 三重がんリハビリテーション研修修了 緩和ケア研修会修了 平成19年度第六回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (消化器)	浦吉 俊輔	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	消化器内科部長	18	○	第30回MMC・第17回三重大学医学部附属病院合同指導医養成講習会受講済 日本消化器病学会認定消化器病専門医		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医 (指導医)
内科 (呼吸器)	油田 尚純	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	呼吸器内科部長	28	○	日本内科学会認定総合内科専門医 日本呼吸器学会認定呼吸器専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会認定気管支鏡専門医・指導医 日本感染症学会認定感染症専門医・指導医 日本化学療法学会認定抗がん化学療法指導医 日本化学療法学会認定抗がん臨床試験指導医 日本結核病学会認定結核・抗酸菌症指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 第2回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (腎臓)	安富 真史	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	腎臓内科部長	20	○	日本内科学会内科認定医 日本内科学会総合内科専門医日本循環器学会循環器専門医 日本腎臓学会腎臓専門医・指導医日本透析医学会透析専門医 第4回三重大学医学部附属病院/第17回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
内科 (糖尿病内分泌)	北川 良子	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	糖尿病内分泌内科部長	27	○	臨床研修指導医養成講習会受講済		4
内科 (糖尿病内分泌)	堀田 康広	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	糖尿病内分泌内科医長	14	○	第7回三重大学医学部附属病院・第20回MMC合同指導医養成講習会受講済 日本内科学会総合内科専門医 日本糖尿病学会専門医 日本内分泌学会内分泌代謝科専門医		4
内科 (膠原病リウマチ)	小寺 仁	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	膠原病リウマチ内科医長	14	○	日本内科学会認定内科医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本透析医学会透析専門医日本旅行医学会認定医 日本病態栄養学会病態栄養専門医・研修指導医 平成28年度第7回三重大学附属病院・第20回MMC		4
内科 (脳神経)	大連 清美	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	脳神経内科部長	27	○	日本神経外科学会認定神経内科専門医・指導医 日本内科学会認定総合内科専門医 日本リハビリテーション学会リハビリテーション科専門医 平成20年度第7回MMC指導医養成講習会受講済		4
内科 (脳神経)	古田 智之	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	脳神経内科部長	21	○	日本神経外科学会認定神経内科専門医・指導医 日本内科学会認定総合内科専門医 日本臨床神経生理学会認定医 第13回MMC指導医講習会/第8回大ネットワーク指導医講習会受講済		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医 (指導医)
外科	町支 秀樹	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	副院長	36	○	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医・指導医日本肝臓学会肝臓専門医 インフェクションコントロールドクター 平成16年度MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
外科	小西 尚巳	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	外科部長	30	○	日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医日本消化器病学会専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 マンモグラフィ読影認定医師 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医 平成15年度MMC臨床研修指導医養成講習会受講済		4
検査	鈴木 秀郎	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	外科部長	32	○	日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本消化器病学会消化器病専門医 日本病理学会病理専門医 日本臨床細胞学会細胞診指導医 日本乳癌学会乳癌認定医 TNTプロジェクト終了医師 検診マンモグラフィ読影認定医師 日本DMAT隊員 緩和ケア研修会修了 平成17年度MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
外科	高橋 直樹	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	外科部長	20	○	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本消化器病学会消化器病専門医 平成28年度第6回三重大学医学部附属病院・第19回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
外科	水越 幸輔	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	外科部長	16	○	第29回MMC・第16回三重大学医学部附属病院合同指導医養成講習会受講済 日本外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医、消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会認定消化器病専門医 日本大腸肛門病専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1プログラム責任者 2副プログラム責任者 3研修実施責任者 4臨床研修指導医 (指導医)
心臓血管外科	湯浅 右人	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	心臓血管外科部長	33	○	日本胸部外科学会胸部外科認定医 日本外科学会外科専門医・指導医 日本心臓血管外科心臓血管外科専門医 日本脈管学会脈管専門医 心臓血管外科学会心臓血管外科修練指導者 平成19年度第5回日本赤十字社臨床研修指導医養成講習会受講済		4
呼吸器外科	天白 宏典	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	呼吸器外科部長	32	○	日本外科学会外科専門医・指導医 三重県緩和ケア研修会修了 平成27年度第19回愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会受講済		4
脳神経外科	黒木 香行	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	脳神経外科部長	22	○	日本脳神経外科学会専門医 日本脳卒中学会専門医 日本神経内視鏡技術認定医 平成20年度第7回MMC指導医養成講習会受講済		4
脳神経外科	田中 克浩	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	脳神経外科部長	22	○	脳神経外科専門医・日本脳卒中学会専門医 日本神経内視鏡技術認定医 第4回三重大学医学部附属病院・第17回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
整形外科 (救急)	中瀬古 健	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	整形外科部長	35	○	日本整形外科学会専門医・スポーツ医日本リウマチ学会専門医 平成26年度第4回三重大学医学部附属病院/第17回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
整形外科 (救急)	松田 理	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	整形外科部長	32	○	日本整形外科学会認定専門医 日本リウマチ財団リウマチ登録医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本整形外科学会認定リウマチ医 平成18年度第四回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済		4
整形外科 (救急)	岡村 直樹	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	整形外科部長	21	○	日本整形外科学会認定専門医 日本整形外科学会認定スポーツ医 日本整形外科学会認定リウマチ医 第8回三重大学附属病院・第21回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
眼科	小澤 摩記	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	眼科部長	22	○	日本眼科学会眼科専門医 PDT認定医 平成28年度第6回三重大学附属病院・第19回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
産婦人科	千田 時弘	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	産婦人科部長	16	○	日本産婦人科学会産婦人科 新生児蘇生法専門コース修了 日本がん治療認定医機構日本がん治療認定医 母体保護法指定医 緩和ケア研修会修了 ダウインチサージカルシステム術者認定資格 JPTECプロバイダー ICLSプロバイダー TNTプロジェクト終了医師 第5回三重大学医学部附属病院/第18回MMC合同指導医養成講習会受講済		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○無:×	資格等	プログラム番号	備考 1)プログラム責任者 2)副プログラム責任者 3)研修実施責任者 4)臨床研修指導医 (指導医)
小児科	森谷 朋子	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	36	○	日本小児科学会小児科専門医 平成20年度日本病院会臨床研修指導医養成講習会受講済		4
小児科	山本 和歌子	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	25	○	日本小児科学会小児科専門医 日本周産期・新生児医学会専門医 新生児蘇生法「専門」コース修了 第11回三重大学附属病院・第24回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
小児科	大槻 静	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	18	○	第3回MMC・第16回三重大学医学部附属病院合同指導医養成講習会受講済 日本小児科学会小児科専門医		4
小児科	間宮 範人	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	小児科部長	16	○	日本小児科学会小児科専門医 新生児蘇生法「専門」コース修了 第7回三重大学附属病院・第20回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
救急科	藤岡 正紀	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	救急科部長	33	○	日本循環器学会循環器専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本集中治療専門医 日本救急医学会・日本専門医機構救急科専門医 日本医師会認定産業医 平成24年度第2回三重大学医学部附属病院指導医養成講習会受講済		4
救急科	畑田 剛	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	救急科部長	29	○	第三回MMC新医師臨床研修指導医養成講習会受講済 日本救急医学会救急科専門医・指導医 日本外科学会外科専門医 日本消化器外科学会消化器外科専門医		4
放射線科	川口 達也	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	放射線科部長	32	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 マンモグラフィ読影認定医 臨床研修指導医養成講習会受講済 プログラム責任者養成講習会受講済		4
麻酔科 (救急)	宮原 ひろみ	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	麻酔科部長	21	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医 平成23年度日本病院会臨床研修指導医養成講習会受講済		4
麻酔科 (救急)	三浦 智美	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	麻酔科部長	18	○	第7回三重大学医学部附属病院・第20回MMC合同指導医養成講習会受講済		4
麻酔科 (救急)	西中 文	地方独立行政法人 桑名市総合医療センター	麻酔科部長	15	○	日本麻酔科学会麻酔科専門医 日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医 愛知県厚生農業協同組合連合会臨床研修指導医講習会受講済		4

※ 「担当分野」欄には、様式8別紙3の臨床研修を行う分野及び病理（CPC）を記入すること。

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、受講した指導医講習会名称や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること）。

※ 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

※ 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年（84月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

※ 欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。